

平成29年10月25日

安城市長 神谷 学 様

高棚町内会長 長坂 勝 継

高棚公民館長 神谷 時 正

高棚保育園父母の会会長 関 森 真由美

高棚小学校PTA会長 加 藤 哲 弥

高棚子ども育成協議会会長 田 村 博 之

高棚婦人会会長 古 市 智 子

高棚保育園を愛する会共同代表 竹 内 今日子

高棚保育園を愛する会共同代表 小 野 華 子

安城市議会議員 神 谷 昌 宏

安城市議会議員 石 川 博 雄

高棚保育園に関する要望書

## 1 はじめに

昨年度、御市に高棚保育園に関する要望を行い、保護者駐車場の舗装をお認めいただきましたが、延長保育及び低年齢児保育については、保育士確保が困難とのご回答でした。

こうした御市のご回答を踏まえつつ、町内の保護者からの強い希望、一町一校一園という事情などから、改めて延長保育だけは要望したいので、お聞き入れいただくようお願いいたします。

## 2 要望の内容

### (1) 延長保育の早期実施

高棚保育園の開所時間について、現行の「午前8時15分から午後4時15分まで」を、「午前7時15分から午後7時まで」または「午前7時30分から午後6時まで」に速やかに変更し、延長保育を早期に実施いただきたい。

### (2) 延長保育に伴う定員拡大の実施

延長保育に伴う定員拡大をお願いしたい。

### (3) 低年齢児保育について

低年齢児保育は、保育士確保の課題、町内の他保育園の取組み等から、当面推移を見守り、将来の課題としたい。

## 3 要望の理由

### (1) 高棚町の世帯・人口・子ども増加の状況

高棚町は、市内一番の広さ（6.66km<sup>2</sup>）があり、国道23号の道路アクセス等が良いところです。10年前と比較すると、町内の世帯は278世帯増え、住民は349名増え、高棚小学校の児童は34名増えています。

こうした伸びは、市内全体の伸びよりも、高い水準で推移しています。また、市内小学校の児童数が10年間で134名減少する中、高棚小学校では34名増えています。

このような町内の世帯・人口・児童の伸びは、隣接市や市内中心部からの転入世帯が増えているためです。多くは、若い夫婦と子供の世帯であり、子どもの数は市内全体とは異なり、今後とも伸びると考えています。

区分		平成18年	平成28年	増減数	増減率
高棚町内	世帯数	1,209	1,487	+278	123%
	住民数	4,255	4,604	+349	108%
高棚小学校	児童数	274	308	+34	112%
安城市内	世帯数	63,318	73,193	+9,875	116%
	住民数	174,778	186,806	+12,028	107%
市内小学校	児童数	11,697	11,563	-134	99%

## (2) 保護者アンケートの結果

平成29年8月から9月まで、現在高棚小学校1年生52名の保護者を対象に、昨年度の保育園・幼稚園に関するアンケート調査を行い、51名から回答を得ました。

回答結果からは、昨年度、高棚保育園に通ったのは23名(約45%)ですが、高棚保育園で延長保育が実施されるならば、14名増えて、37名(約73%)が、高棚保育園を希望するというものでした。

質問1	昨年度、お子様が通われた保育園・幼稚園は、どこですか。	高棚保育園 23名	その他 28名 第二慈恵16、西部3、高浜ひかり3、てらべ3、和泉1、えのき1、明聖第三1	通わなかった 0名	計 51名
質問2	高棚保育園で延長保育が実施されたら、どこを希望しますか。	高棚保育園 37名	その他 9名 第二慈恵6、高浜ひかり1、てらべ1、不明 1	わからない 5名	計 51名
質問3	保育時間について、どのようにお考えですか。(自由意見)	22名			

### 自由意見の内容 22名

#### ○昨年度、高棚保育園に通わせた 7名

- ・延長保育があればうれしい。
- ・特に何もないけど、長くいれたら助かる時もあると感じる事があります。
- ・延長があったら利用したかったです。
- ・正社員で働くお母さんに合わせる時間ぐらい。
- ・延長保育が高棚保育園で実施されれば、とても助かるのですが、一方で人数が確保できないと預ける側もためらってしまうのではないかと感じます。(高棚に住むお母さんで延長するまで働く方は少ない印象)難しいですネ。
- ・安心して仕事をするために、ぜひ延長保育を導入してほしい。(ギリギリ預け入れしてきたが、通勤時に急がなければならず、精神的につらかった。)
- ・高棚保育園で延長保育をしてもらえると、長時間仕事ができるので助かります。

#### ○昨年度、第二慈恵幼稚園に通わせた 10名

- ・共働きだと、延長保育でないと難しいです。必ずしも祖父母に頼れるわけではないので。
- ・現行の8時15分～16時15分までだと、仕事の勤務時間を考えると預けられないのが現状です。時短で働いていても、特に朝はもう少し早くはじめていただくと良いかと思えます。
- ・4時の子どもの迎えは早いと思えます。4時前に仕事が終わる事が出来る人はいいです

けど。

- ・働くお母さんが増えてきているので、これからお母さんたちの為に保育時間の延長を希望します。
- ・働く母親のための保育園であると思うのですが、今の開所時間では、フルタイムで働けないので残念です。歩いて5分のところにあるのですが、他に通園しました。
- ・延長保育があれば、働く幅が広がり良いと思う。
- ・高棚保育園は延長がないので、延長の事を考えると、西部保育園や第2慈恵幼稚園のプリティになってしまいますので、高棚保育園で延長があれば大変に助かります。
- ・AM7:30~PM6:00まで見てもらえると助かります。
- ・延長で見てもらえると選択の幅が広がっていいと思います。
- ・第3子が幼稚園で延長保育を利用しています。助かることが多いので、高棚保育園でも利用できれば助かる方が増えると思います。

#### ○昨年度、西部保育園に通わせた 3名

- ・お姉ちゃんと妹の場所が離れていて、お迎えが大変でした。同じ小学校へ行く友だちが少なく不安そうでした。
- ・朝と夕方、延長保育を利用していたので、近くにあると助かったと思う。
- ・働くお母さんが増えてきているので、早朝と延長保育はしてほしいです。せっかく同じ町内に住んでいるので。

#### ○昨年度、えのき保育園に通わせた 1名

- ・時間が少し短い気がします。朝もしくは帰りの時間の延長時間を少し長くしてもらえると幸いです。

#### ○昨年度、明聖第三幼稚園に通わせた 1名

- ・延長保育が充実していれば、保育園、幼稚園選びの選択肢になるので良いと思います。

### (3) 高棚保育園の延長保育の早期実施について

#### ア 延長保育への強い希望

高棚保育園では、現在の開所時間は、午前8時15分から午後4時15分までの8時間です。

しかし、他の保育園の多くは、開所時間は、午前7時15分から午後7時まで、又は、午前7時30分から午後6時までと、およそ11時間前後という長い時間であり、延長保育が実施されています。

共働き世帯にとって、午前8時15分から午後4時15分までの8時間保育では、仕事と子育ての両立は困難との声が非常に多いです。働く母親のための保育園であるはずなのに、そうっていないとの声が多いです。祖父母がいない場合はもちろん、三世帯同居であっても、晩婚化・高齢化などにより、必ずしも頼れるとは限らないからです。

## イ 一町一校一保育園

「小1の壁」と言われる様々な心配から、保護者が、子どもの入学前に、友だちづくりを願うのは、当然と考えます。

一般的には、小学校区内に複数の保育園があると思われれます。しかし、高棚町では、全員が高棚小学校へ入学する「一町一校」であり、入学前の保育園は、高棚保育園だけという「一町一校一園」です。

その高棚保育園で延長保育が実施されておらず、共働き世帯は、他の小学校区の保育園に預けなければならないのです。

本市では、中学校区単位での保育園整備に御尽力いただいていると理解しますが、保護者にとって、他の小学校区では、入学前の友だちづくりにはならないのです。

どうか、小学校区（高棚小学校区）内に、入学前、一つの保育園（高棚保育園）しかない場合、その保育園の開所時間は延長保育とし、共働き世帯もそうでない世帯も、ともに受け入れが可能なよう、速やかに改善を要望します。

## ウ 女性の社会進出の動き

来年1月から、配偶者控除が103万円から150万円に引き上げられます。これは税制面から、パート主婦の社会進出を促すものです。

また、女性の職場において、パート採用から正規採用への切換えや、資格取得によるキャリアアップが進むなど、急速に働き方が変化しています。

こうした変化を踏まえ、保育園での延長保育の拡大は絶対に必要です。

## エ 延長保育に伴う定員拡大のお願い

延長保育が実現する場合、定員拡大を併せて強くお願いします。

本町の「一町一校一園」の事情をご理解いただき、これまで預けられた地元の子どもや、新たに希望する地元の子どもを、優先的に認めていただきたい。

また、町内には、株式会社デンソー高棚製作所などの事業所があり、約600人の市民が通勤して来られます。こうした方々から、職場から最も近い保育園として、希望が出されると考えられますので、十分な定員拡大をお願いします。

なお、保育士の確保については、臨時保育士を確実に確保いただきたい。なお、保育士の負担軽減のため、保育士資格がなくてもできる補助業務の検討もお願いしたい。

また、施設の確保については、既存の教室などの利活用のほか、増設が考えられますが、高棚保育園の敷地（4,387m<sup>2</sup>）は、市内保育園で有数の広さであり、十分に可能と考えます。

いずれにしても、本町としては、出来る限り協力したいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。

#### オ 低年齢児保育について

高棚保育園では、低年齢児保育（0歳児から2歳児までの保育）は実施されておらず、保育年齢は3歳児から5歳児までです。

この点、他の保育園では、低年齢児保育と延長保育は、セットになって実施されており、高棚保育園でも、出産後まもなく職場復帰する母親のニーズはあると考えられます。

しかし、保育士確保が課題という深刻な事情を理解しつつ、低年齢児保育は、乳児3人に保育士1人が必要など、非常に多くの保育士が必要とされること、高棚町内では第二じけい保育園が実施していること、今年9月からは内閣府所管企業主導型保育事業のマミーズ保育園が加わることなどから、当面はこうした推移を見守り、将来の課題としたいと考えます。

以上